



会場風景

(右)ハイザック・エントラーブライス  
井井氏

新入会員の方々

# 経営のヒント!

## 大衆は批評家

市場調査は、ある意味で有効である。たとえば、既成の製品の評判を探ろうという場合である。だからといって、それを基礎に改良品を出して売れるかといえば、それは判らない。ましてや独創的な新製品をつくるヒントを得ようとしたら、市場調査の効力はゼロと言つていい。

大衆の知恵は、決して創意などは持っていないのである。大衆は作家ではなく、批評家なのである。作家である企業が、自分のアイディアを考えずに、大衆にそれを求めたら、もう作家ではなくなるのである。大衆が諸手を挙げて絶賛する商品は、大衆の全く気がつかなかつた楽しみを提供する、新しい内容のものでなければならぬ。

大衆に求めることができるもの、世にあるものの批評であることを忘れてはならない。

## 総務委員会

委員長 島田 弘之 副委員長 片山 裕孝

### 平成13年度活動計画

- 1.会員手帳の発行(2年使用可能)
- 2.「藤花」の発行(年3回予定)
- 3.クリーン作戦の実施

以上、3項目を重点に活動し、隨時新入会員の増強を行っていきたいと思います。

本年度は、「開かれた総務委員会」にしたいと思いますので、毎月第1水曜日(夕方)に時間がある方は参加して、「藤花」についての情報や意見をどんどんいただきたいと思います。

また、委員のメンバー交換が3分の2程あったので、先輩方の伝統を守りつつ、新しい方向性を見つけ出すチャンスだと思いますので、試行錯誤しながら楽しみながらやって行こうと意気込んでおります。

＜島田 弘之＞

## なんでも委員会

委員長 藤原正敬 副委員長 稲見一郎

本年度、なんでも委員会では、第一回委員会を去る5月24日に商工会議所第1会議室において開催いたしました。協議の結果、委員会開催日を毎月第4木曜日19時よりとすることに決定しました。委員会メンバーを含めオブザーバーも大歓迎ですので、奮ってご参加下さるようお願いします。

活動方針につきましては、次回委員会において協議することにしておりますが、大きなテーマとして他委員会との連携を密にして、遊戯的な活動を行うということがありますので、その前段階として委員会内メンバーの懇親を深めながら、広く意見を求め、「なんでもあり委員会」として当青年部のお役に立てるよう小回りのきく活動をしていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

＜藤原 正敬＞

## 経営委員会

委員長 小松原 博幸 副委員長 黒川 尚志

皆さん、いつもお世話になっています。

このたび、平成13年度経営委員会の委員長を務めることになりました小松原と申します。

経営委員会には私個人として、4年間かなり勉強させていただきました。

本当に今の私があるのも、経営委員会のお陰だと思っています。

まだまだ勉強したいと心の底から思っていますが、今年は委員長ということで、私が今まで学んできたことをパワーアップさせ社長業をテーマに勉強していきたいと思います。副委員長の黒川氏(おもちの黒川)に助けていただきながら1年頑張っていきたいと思います。宜しくお願ひいたします。

＜小松原 博幸＞

## ニューメディア委員会

委員長 小野 智彦 副委員長 平井 強 副委員長 日下 巧

平成13年度ニューメディア委員会は、参加会員にホームページも作成してもらい、独自のビジネスプランを考えることを目標にしています。

その上で、商工会議所青年部のホームページがどのようになればいいか当委員会で考えたいと思っています。

そのために、コンピューター全般の知識の向上、インターネットの利用、各種使用ソフトの知識向上をしていきます。

その他、対外団体(IT関連)の窓口

以上の目的を持って1年間を頑張りたいと思います。

＜小野 智彦＞